

アスファルト舗装境界部の新しい防草材料

【草ゼロシーラント】

令和7年7月

 早川ゴム株式会社

■現状の課題と目的

- ・ アスファルトと境界ブロックの隙間に雑草が多数発生



雑草発生によるデメリット

- ・ 視認性の悪化
- ・ 通行障害の発生
- ・ 景観を損なう
- ・ 害虫の発生

上記現象を抑制する為には、雑草の繁茂を防ぐ対策が必要

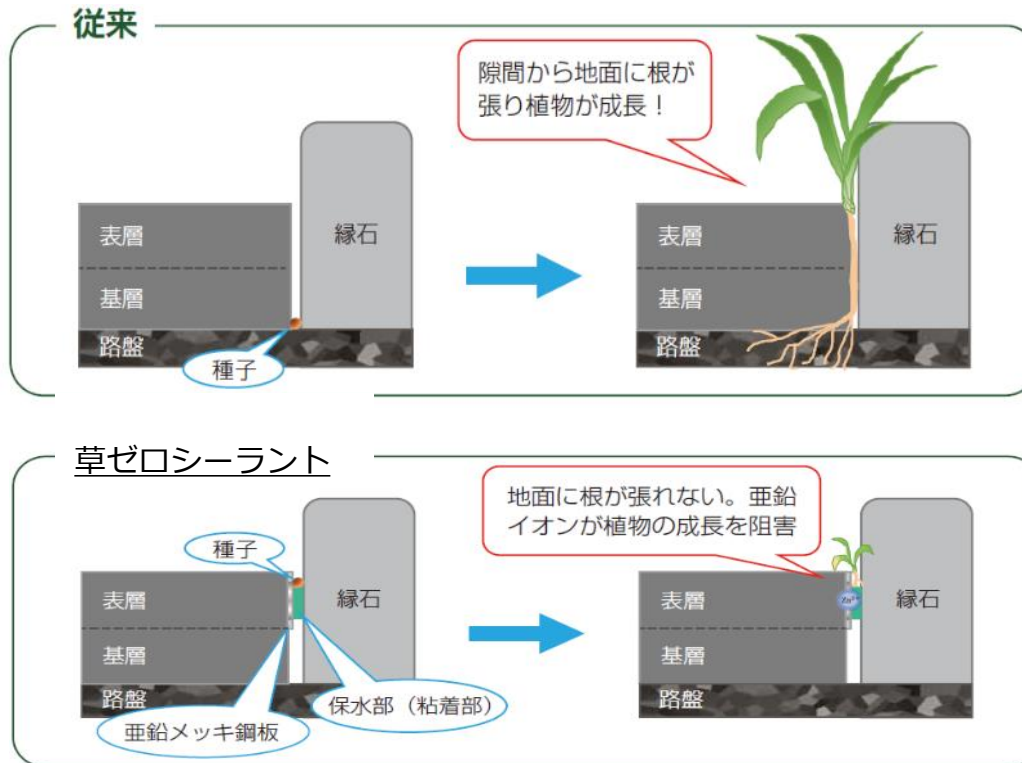


「草ゼロシーラント」の施工により雑草の生育を抑制

■製品・技術の概要

草ゼロシーラントとは・・・？

飛来する種子の侵入をブロックし、製品から放出される『亜鉛イオン』が植物の生育を抑制する防草対策製品



製品写真



◆ 製品の特長

- 亜鉛イオンによる防草効果

除草成分を製品に配合しており、植物の生育を阻害する効果を有しています。草刈りの手間、費用の削減に効果的です。

- 優れた施工性

コーキングタイプの為、不陸や曲線部及びアスファルトのクラック部にも施工可能で新設工事、改修工事どちらでも使用可能です。

- 伸縮追従性

コンクリート及びアスファルトとの接着性も優れており、アスファルトの伸縮追従性に優れています。

◆ 安全性について

亜鉛は土壌に存在している物質であり雨水による溶出量は10年程度かけて溶出すると想定しており土壌にとどまり続けることはなく環境に対する影響は低いと考えられます。

① 施工表面の清掃



② シーラント打設



① 既設コンクリートの隙間への施工



② アスファルト舗装クラック部への施工



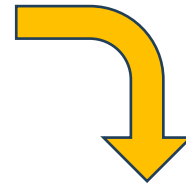
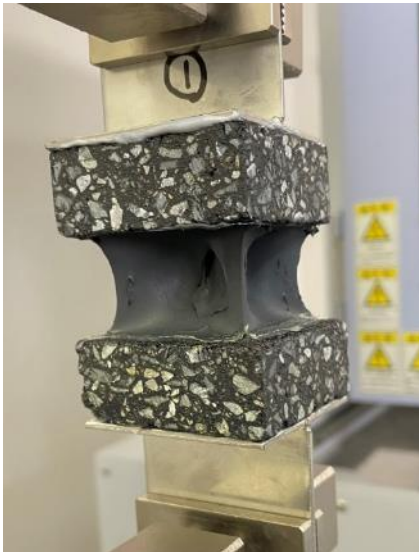
③ 既設コンクリート側面への施工（アスファルト舗装内に埋設される場合の施工）



◆ アスファルトに対しての付着力（変位追従性）を確認する為、
試験を実施

- ・ アスファルト板およびモルタル板
50mm×50mmにシーラントを塗布
- ・ 東部工業技術センター 塚脇氏の立会い

引張試験状況



アスファルトに対して十分な付着力
（変位追従性）を持つことが
確認された。

早川ゴム東京支店 土木用止水材チーム
〒135-0031 東京都江東区佐賀一丁目16番10号
TEL03-3642-1180
担当地域 北海道 関東 新潟

